

教員学生文化芸術交流事業 教員派遣と海外講師招聘による芸術教育の双方向的な研究

報告：チャールズ・ウォーゼン

研究代表者：チャールズ・ウォーゼン 研究分担者：鯉澤達夫

研究協力者：南昌伸、古堅太郎、バーンハード・ガーベルト（ハノーバー専科大学教授）、ベアト・シュバルトホフ（ハノーバー専科大学教授）、エスター・クロガー（ハノーバー専科大学国際事務局員）、クラウディア・フォルタニユ（ハノーバー専科大学国際事務局員）

研究目的

本研究は、本学における欧州協定校より芸術学部教員を招いての共同創作ワークショップや美術活動のレクチャー開催を通じた異文化交流を実施することで、本学学生の留学機運を高める、双方向的な教員学生文化芸術交流による国際交流推進を目的とした実践的研究である。本学は、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の理念とし、国際平和文化の牽引を都市像とする広島市に建設された大学として、地域社会の要請に応え、豊かな国際性と創造性、そして高い志望をもつ人材の育成を使命としている。その方針の一環として、これまで積極的に国際交流の推進に取り組んできた。本研究は、その代表的な事業の一つとして開学以来継続されている、学術交流プログラムである。

欧州協定校からの教員招へいによるワークショップ、レクチャー開催を通じた異文化交流

2017年5月31日および6月1日、広島市立大学芸術学部棟内で、ハノーバー専科大学のバーンハード・ガーベルト教授とベアト・シュバルトホフ教授によるレクチャーとワークショップが開催された。本学の芸術学部および研究科の学生約40名が参加、2日間を通して日本の芸術教育とは異なる思想や背景のもと、各教員の芸術分野における専門性を活かした交流プログラムを行った。

1日目の前半は、ガーベルト教授とシュバルトホフ教授の両名から、ハノーバー専科大学の芸術教育についての概説、また各教員の制作研究について紹介された。後半からは、参加学生の専門分野や関心に応じて各教員のワークショップに分会し、それぞれに体験型学習を行った。空間芸術、彫刻を専門とするバーンハード・ガーベルト教授は、参加学生の日常にある素材を遊戯的に、また即興的に扱うことで生成されるオブジェクトの構成を課題とし、日用品の持つ意味の脱構築や空間との関係性の探究が目的とされた。描画手法と実験的デザインを専門とするシュバルトホフ教授は、伝統的なテクニックとしてではないドローイングの可能性を模索する内容により、2次元から3次元への展開を身体的に考察する制作を行った。

2日目の前半は、分会で行われたワークショップの作品を統合することに着手し、再構築された彫刻的な身体と、巨大な紙に描写された平面的な身体との融合によるインスタレーションが試みられた。後半は、一体となった作品群の総評および、各学生の作品プレゼンテーションと講評が行われた。参加学生は、レクチャーの聴講やワークショップでの実制作、普段とは違った指導方法や他言語コミュニケーションを通じ、異文化交流を実践的に学ぶことができた。また、講評後もハノーバー専科大学の学びの詳細を質問する学生などがおり、プログラムを通じて交換留学への機運を高めることができたと言える。



〔図1〕レクチャーの様子



〔図2〕ワークショップの様子



〔図3〕ワークショップの様子



〔図4〕ワークショップの様子



【図5】 講評会の様子

ハノーバー専科大学・広島市立大学 学術交流協定20周年記念展

20周年を迎える本研究の取り組みを記念し、持続的な研究による成果の発信を目的とした「ハノーバー専科大学・広島市立大学学術交流協定20周年記念展」を開催した。主に2007年後期～2017年前期の本学からハノーバー専科大学への交換留学生、その中から9名の作家を招へし、交換留学後も現地で活動をつづけている作家、留学経験で習得した内容を高度に発展させることを追究している在学生らによる作品、留学先での国際的な環境における制作が評価を受け優秀賞として芸術資料館に所蔵されている作品、などで展示構成した。

なお、プレオープンキャンパスの企画として連携することにより、交換留学への関心をもつ学生のみならず、本学への入学や研究協力を検討している学外の方々も対象とし、近年の文化芸術の社会的役割として広く要請されている地域文化の発展などを念頭に置きながら、国際交流の事例発信や成果アピールなど対外広報戦略の一環としての位置付けを考慮した。

開催概要

会期：2017年5月29日（月）～6月18日（日）

場所：広島市立大学芸術資料館



【図6】 展覧会の会場風景

主催：広島市立大学芸術学部

協力：ハノーバー専科大学

関連企画：ギャラリートーク（5月29日、6月18日の計2回）



【図7】 展覧会ポスター